

No.116

平成31年1月1日発行

# 診断ひろこ

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 柴谷 真治

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8階  
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL: <http://www.shindan-hg.com>

## 新たなことを始める新元号の一年に



兵庫県中小企業診断士協会

会長 柴谷 真治

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。

今年、平成31年は平成最後の年です。4月30日の天皇陛下のご退位、5月1日の皇太子殿下の天皇ご即位は、今年ならではの行事であり特別な祝日の扱いも予定されています。我々国民はそれぞれにこの我が国の歴史の節目を、自分の人生にとってもよい節目として植え付けることができるのではないかと思います。今後10年もすれば、或いは10年もしないうちに、「平成世代」や「平成レトロ」などと呼ばれる価値観が芽生えながら、平成時代をふり返りその時代を評価する未来の視点が生まれていることでしょう。

過去には中国やアジアの国で元号が存在したこともありましたが、現在も法律に基づいた元号が運営されているのは日本だけ、即ち今や元号は我が国固有のものだそうです。長い歴史を経て、それぞれの元号に対する時代感覚が、我々日本人の中には確かに染みついていると思います。皆様も「明治」、「大正」、「昭和」、「平成」それぞれに、何となくイメージできる時代観・社会観のようなものをお持ちではないでしょうか。外国で世代を指す表現には、例えば「60's」(シクスティーズ Sixties)として1960年代を指すことはありますが、我が国の元号とは異なり、単に10年単位の過去を指す表現です。一方、元号はそれぞれの天皇の在位を期間として、その表記に漢字を用います。元号は用いられる漢字の持つ意味も含めて、歴史とともに一つの時代イメージを、日本人・日本社会の中に作り上げていると私は思っています。今年の前半は新たな元号が何になるのか、時代の節目をどう迎えるかなどを楽しみにしながら過ごしていきたいと思っています。

ちなみに、東京商工リサーチ社の公表によると、「平成」という2文字を含む社名を持つ会社は、全国に1,270社あるそうです。一方「昭和」という2文字を含む会社はその約2倍の2,640社だそうです。今年の新しい元号を社名に用いる会社が元気に生まれてくることも大いに期待されるところです。

新しい元号となるこれからの時代でも、さまざまな変化を遂げていくことになるのでしょうか、初年度から起こることとして、消費増税があります。我が国の財政状況、今後の経済成

長予測を考えれば、社会保障をはじめとする国民生活の安定的基盤を固めるためには増税も止む無し、との政府判断によるものと理解しています。しかし税率の変更、軽減税率の導入などには、企業経営、とりわけ小売・サービス業の現場に混乱を招くことも危惧されています。国をはじめ関連行政機関の皆様には、前広に具体的で正確な情報を提供いただくことを期待しています。そうすることによって、企業側が十分な時間をもって適切に自社の対応を講じる環境を整えることが可能になるはずです。私たち中小企業診断士も増税の運営の具体的な内容を把握し、企業の皆様の増税対策の一助を担えるように準備しておきたいと思っています。

もう一つ、新たな時代の企業経営には「働き手」に関するいくつかの課題があると思います。

人手不足は中小企業にとってより深刻な状況のようで、「採用したくても応募がない」という声を従来にも増して聞くようになりました。

これまでも、定年延長や女性の就労機会の増大を図るなどの対策が講じられており、一定の効果を上げてきました。今年から始まる新たな時代には、働き方改革による時間外勤務や有給休暇に関する新たな法制度が4月1日から開始されます。さらに労働力を確保する手段として、外国人労働者の活用にも新たな流れが生じることと思います。

我々中小企業診断士としては、これらの就労を取り巻く環境変化をよく理解し、中小企業の従業員の確保・育成・定着に向けた支援や、それらに伴う中小企業各社のそれぞれの経営現場・仕事現場に合わせ、幅広く、適切に助言ができるようになりたいと思っています。

未だ新たな元号は分かりませんが、当協会の活動においても「〇〇元年、こういう新たなことを始めた」といえるような1年にしたいと思っています。

これまで同様、協会運営にご理解とご協力を賜り、是非本年も協会活動に積極的にご参加くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

# 節目の年を迎えて

このコーナーでは、今年、更新10年・20年・30年・40年と節目に当たる年を迎えられた会員の方に、これからの抱負やこれまでの振り返りを投稿していただきました。



**石田昌廣**（昭和54年登録）

登録40年を迎える企業内診断士です。昨年は大企業の不祥事が多く発生、各社のコンプライアンス体制は一層強化されています。中小企業とのコンプライアンスに対する取組みの格差は益々開く一方です。そこで、中小企業が組織する協同組合に注目、共同事業で診断士、弁護士、社労士等を活用した研修、個別相談に力を入れることで大企業とのコンプライアンス格差を縮めてはいかがでしょうか。「共同でコンプラ」が今年の合言葉。



**上山芳樹**（平成11年登録）

あけましておめでとうございます。今年で診断士登録20年を迎えます。この20年で変わらなかったことは、現在も企業内診断士であること。変わったことは、体型。当時90kg弱あった体重が、現在はマラソンランナー体型に！今後もトレーニングに励み自己新記録フルマラソン4時間切り(サブ4)を狙っていきます。変わらなかった会社勤務も3月で還暦定年。少しずつ構築し始めた診断士の人脈にお世話になる時が来たのかな？そういう意味では再スタートの年！として、チャレンジ精神をもって頑張っていきます。本年もよろしくお祈りします。



**斉藤堅一**（平成11年登録）

資格を取得してから20年、当初は企業内診断士でしたが、資格取得時に得た知識を活用して、中国上海の企業と共同事業を行い、Win-Winの関係を築き、大きな成果を上げることができました。退職後は独立コンサルタントして活動を始め、ご縁のある企業さんの経営支援を行い、少しはお役に立てたのではないかと考えています。これからも、各企業の持つ「強み」に着目しながら、中小企業支援に携わっていきたくと考えています。



**齋藤晴美**（平成11年登録）

20年前、協会の諸先生方、兵庫県や神戸市、各地の商工会や経営者の皆様にお声掛けを頂いたことで独立診断士として歩み始め今に至ることが出来ました。心からお礼申し上げます。その間、「何があるのか」「何を実現するのか」を問い続ける中で、人の価値観を探求したり、中国・アジアの諸外国を訪れたりと自分の世界を広げてきました。経済や社会の仕組みが大きく変わる過渡期にあって、時流に沿う新たな価値創出に向けて尽力していく所存です。よろしくお願い致します。



**植田訓行**（平成21年登録）

会員の皆様へ 受託開発委員長よりのお祈り。受託開発委員会では、受託案件を幅広く会員の方へ担当をお願いしたく考えております。それには担当して頂く方がどのような方なのか(能力・人柄、その他)を当委員が知らなければ願ひすることが難しいです。そこでお祈りです。当協会の研究会などの行事、委員会活動に参画して自分がどういう人間なのか詳らかにして頂きたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。



### 高松留美（平成21年登録）

中小企業診断士10年目を迎えました。この間、仕事の面では資格取得、異動、転職、独立を、私生活の面では結婚、出産、子育てを経験し、公私ともに変化に富んだ10年でした。最近、多様な働き方への関心も高まってきたこともあり、ワークライフバランスやダイバーシティに関連する仕事にも挑戦させていただいております。資格取得時には予想もできなかった現状ですが、次の10年も環境と自身の変化を楽しみながら邁進したいです。



### 西谷雅之（平成21年登録）

平成21年4月登録の西谷と申します。2回目の更新を迎えるにあたって、月日の流れる速さに戸惑いを感じております。診断士登録時の職業はフリーランスのシステムエンジニアだったのですが、平成28年より診断士業務をメインの仕事としています。診断士歴は10年に達しようとしていますが、実質的にはまだ3年の駆け出しであり、まだまだ日々研鑽に励む所存であります。皆様方には引き続きご指導のほどよろしく願いいたします。



### 西本文雄（平成21年登録）

これまでの10年間、独立後から多くの企業と真摯に向き合ってきた歴史であり、やっと手応えのある仕事ができるようになってきました。それはひとえに当協会の皆さまを含めて、これまでご縁を頂いた方々からのご支援のおかげと感謝しております。そのため、今後もさらなる事業展開を図りながら、多くの皆さまと連携してこの兵庫県の地域経済の活性化に貢献したく考えます。今後とも変わらぬご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



### 土屋達郎（平成21年登録）

今年、中小企業診断士の2回目の資格更新を迎えます、土屋と申します。今まで、メーカーで、製品開発、製造、新規顧客開拓の形で、ものづくりに携わってきました。ところで、昨今、メーカーの改ざん・不祥事が目立ちます。今までの経験からして、検査をより厳しくしても、負担だけ増えて再発は続きます。それよりも、改ざん・不祥事を起こさざるを得ない“深い事情”を見つけ出し、改善すべきだと思っています。このように、メーカーの無用な負担を減らしつつ、確実なものづくりをアドバイスしていきたいと考えています。



### 中島和樹（平成21年登録）

中小企業診断士の登録をして10年、開業から8年を迎える。会社を定年退職しても生涯仕事を続けたいとの思いで取り組んだのが、新入社員時代に勉強したこの資格だった。まず、行政の経営相談員に応募したが、60歳を超えての新規採用は難しかった。それでも、多くの機会に恵まれて、行政や金融機関、商工会議所などの仕事を担当させていただいた。次のステージでは、さらに広い立場で社会のお役に立てる仕事に取り組みたい。



## 中小企業診断士の日

### 「特別イベント」を開催

平成30年11月3日(祝)に、神戸市産業振興センターにおいて「中小企業診断士の日 特別イベント」を開催いたしました。



基調講演

このイベントは、中小企業診断士を目指している方や近年中小企業診断士を取得した方などを対象に、資格の魅力と可能性を伝え、活躍する仲間を増やすことを目指したセミナーです。

柴谷真治会長の開会の挨拶に続く第1部の基調講演では、当協会の会員で国立研究開発法人 科学技術振興機構の福嶋康徳氏をお招きし、「診断士資格、私にとっての魅力と活かし方」と題し、中小企業診断士が活躍できる場が多くあることや、実践することで自己成長に繋がることなどについて、ご自身の豊富な経験やデータをもとに具体的にお話いただきました。

第2部では、当協会の会員である、内藤敏氏、中村佳織氏、青山雄一郎氏の3氏によるパネルディスカッション「私スタイル大公開！ 個性を活かす診断士スキルの磨き方」を行いました。それぞれの方が得意とする仕事のスタイルを紹介しながら、どんなきっかけで中小企業診断士を志してどのような受験時代を送り、どのようにして診断士の実績を積んでいったのかなど、貴重な生の声をお話いただきました。



パネルディスカッション



グループワーク

第3部の参加者全員で行うグループワーク「今日の気づきを共有しましょう！」では、様々な背景をもつ参加者がグループでの意見交流を行い、資格の可能性や自己実現についての理解を深める機会となりました。

参加者からは「中小企業診断士になりたい思いが強まった」や「新たな気づきを大いに得ることができた」と言った声が多く寄せられました。また、資格取得を目指す方や活動を模索している方と、現在すでに活躍している中小企業診断士の方が交流できる貴重な機会となりました。

## 神戸市立神港橋高校で「市民講師」



神戸市立神港橋高校での「市民講師」による授業

中小企業診断士による「出前授業」が平成30年11月27日、神戸市立神港橋高校で行われました。対象は、みらい商業科3年生のうち「マーケティング」科目の選択履修者26名(当日の出席者は22名)。当協会の稲垣賢一会員が「市民講師」として同科目の1コマ(50分)、教壇に立ちました。

テーマは「起業を体感する」。「神戸市もしくは淡路島で民泊を開業する」と仮定して、ターゲットを誰にするか、その人たちの課題をどうやって解決するか—といったことを5、6人のグループで話し合いました。講師からは「訪日外国人が日本で困ったこと」のデータや、各地の観光案内冊子が資料として配られました。

高校生はそれらにも目を通しながら、熱心かつ楽しそうに意見交換をしていました。

今回の授業は、市民専門講師による特別講座という神戸市の事業によるものです。

「出前授業」は、昨年の「国際フロンティア産業メッセ」で同校職員との繋がりができたことをきっかけに昨年から行っています。稲垣会員は「起業は簡単なことではないので、難しい内容だったかもしれない。その中で、グループにアドバイスすることで、気づきを得られた学生がいたことを実感し、やりがいがあった。」と振り返っていました。

## 同・好・会 活動だより

### 兵庫県笑考会

## 「神戸新開地・喜楽館」の夜席に初参加

平成30年10月24日、兵庫県笑考会(落語研究会)活動の一環として、昨年夏に開場した「神戸新開地・喜楽館」での夜席「第1回 そして神戸 いまだに神戸 ～神戸在住者の落語会～」の見学会を実施しました。

寄席のタイトルにもあるように、この日は神戸出身・神戸在住の噺家を集めた落語会で、トリの露の団六師匠(東灘区)をはじめ、桂三ノ助(兵庫区)、笑福亭智之介(灘区)、桂あおば(西区)と全員が地元ゆかりの噺家で、客席には出演者と縁の深い方々もちらほら。また、長田区からはゲストの鉄板コテ之介も登場し会を盛り上げました。ラストは全員が参加しての「神戸検定クイズ」。正解者には記念品が配られ、本会でも「新開地手ぬぐい」をゲットし楽しく過ごすことができました。(笑考会会員 玉島 剛)



昨年完成した「喜楽館」の前で

ただいま修行中

## 《第1回》地元丹波市で地域一番の経営支援を目指す

足立 悠平さん

今回から、新しいコーナーがスタートします。中小企業診断士としてスタートをしたばかりの方、独立間もない方を取り上げ、中小企業診断士としていまどのような取り組みをしているか、などを伺います。第1回に登場するのは、今期(第14期)のプロコン育成塾で目下修行中の足立悠平さんです。



私の場合、中小企業診断士の資格を取得する前から、先に行政書士として独立していました。活動の拠点は地元の丹波市なのですが、ライバルとなる同業者が結構いました。多数の行政書士のいる中で自分を選んでもらうためには、選ばれるための特徴が

必要と考えました。何か差別化できることはないか、と思っていたところ、経営者の悩みや将来の計画にも関わることのできる中小企業診断士が最適だと気づきました。地元の土業について調べましたが、幸い、地域にはこうした経営の支援ができるライバルがほとんどいないことが分かり、この資格を取ろうと決めました。

現在は、中小企業診断士としては独立したばかりですので、主に公的機関の専門家派遣や先輩のコンサルタントの支援などが中心です。顧客としては製造業が多いですね。

実は、「プロコン育成塾」のお話は1年半ほど前に実務補習を受けた際、指導員を務められた方から勧めていただいていたのですが、しばらくはどうしようかと迷っていました。

独立後、中小企業の支援の仕事が増えてくると、より専

門的な知識や技術が必要となってきました。これまでは、受験勉強で学んだことや独学・我流で勉強をし、支援活動に役立ててきましたが、やはり我流では限界があると強く感じるようになったため、もういちど基礎からきちんと体系的な勉強をしようと、「プロコン育成塾」の受講を決めました。

まだ将来のプロコン像を考えることは難しいと感じていますが、今までの行政書士の仕事を振り返ると、多くの「土業」が書類を作成したり手続きの代行をしたりという仕事を中心であるのに対し、中小企業診断士は、経営者や中小企業の課題により深く入り込んでいくことに気づきました。経営者の悩みを聞き、また、企業の経営課題の発見・解決に直接関わっていくことで会社の売上げが上がる、会社が発展する、ということになればいいなと思っています。

今の課題は、いただいた仕事を必死になってこなすアウトプットが中心で、しっかり腰を据えて知識や技術を習得するインプットの割合が少なくなっていることだと考えています。もっと時間を作って知識や技術の習得に励みたいと思います。

最後に、私事ですが、11月に結婚いたしました。今後は名字が変わり、中澤悠平として活動していきます。みなさま、よろしく願いいたします。

## 入退会者のお知らせ

本年度(平成30年11月30日現在)の入会者・退会者は以下の通りです。

### 入会者(転入を含む)

上田 誠、八木敏文、中島史朗、山根知典、谷井友海、米本幸平、末政太士、阿部馨、松本泰良、工藤雅也、天谷浩人、井上陽介、山本顕一、橋本幸恵、中庭基司、澤谷義則、中村 真、杉井敦史、廣田有樹、脇岡直美、佐藤悦弘、竹上 勲、濱 正和、中島正貴、塩田純一、沖野智子、村上 顕、土屋達郎、山本利映、鯉谷友樹、岡崎永実子

### 退会者(転出含む)

仲山茂泰、鷺野洋一、大西一達、小野治信、宇田名保美、濱尾功二郎、草譯貴博、山田 尚、佃 浩輝

## 委員会報告 10月～12月

### ● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
10月 9日(火)	新年会の企画について、協会会計の収支報告について、理論更新研修についての振り返り、経営実務研修について
11月13日(火)	経営実務研修について、新年会の運営について、来期理論更新研修について、会員名簿の更新について
12月 4日(火)	新年会の運営について、来期の理論更新研修について、経営事務研修の報告、来期総会について、協会会計の報告
【事業報告】 理論更新研修を実施し、来期の準備に入っています。新年会の準備をしています。	

### ● 受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
10月10日(水)	受託開発委員会会議開催:年度未受託実績予測について
12月12日(水)	受託開発委員会会議開催:今年度の受託実績予測について
【事業報告】 平成30年度の受託金額は、会員各位の力を借りて保証協会専門家派遣事業、技術・経営力評価事業の専門家派遣などにより年度末では6千万円強の受託実績を予測しています。今後の活動としては、民間からの受託案件獲得を目指しています。特に地域金融機関からの受託案件獲得を目指しており、既に複数の地域金融機関から打診を受けています。	

### ● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月9日(火)	診断ひょうご1月号コンテンツ検討、診断協会紹介動画等について検討
12月3日(月)	診断ひょうご1月号の校閲
【事業報告】 ・神戸市立神港橋高校で、神戸市の「市民専門講師」として広報委員が授業を行いました。 ・11月3日の「診断士の日」のイベントを、事前に神戸新聞で紹介していただきました。この記事を見て3人が参加していただきました。	

### ● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
9月25日(火)	スキルアップセミナーの準備状況の確認、日銀セミナー・中小企業診断士まつり「wasshoi」の開催準備、「中小企業診断士の日」のイベントの開催準備
10月22日(月)	スキルアップセミナーの準備状況の確認、災害時のセミナー開催対応についての協議、「中小企業診断士の日」のイベントの開催準備
11月26日(月)	スキルアップセミナーの準備状況の確認、日銀セミナー・中小企業診断士まつり「wasshoi」の開催準備、「中小企業診断士の日」のイベントの振り返り
【事業報告】 ・11月3日(祝)に開催した「中小企業診断士の日」のイベントは、初めての試みでしたが、定員50名いっばいの参加をいただき、大変好評のうちに開催いたしました。 ・スキルアップセミナー、中小企業診断士まつり「wasshoi」など、今後も引き続き魅力あるセミナーを開催していきます。	

## ニュース

## NEWS

### ■ 「新年会」実施のお知らせ

来る1月19日(土)、当協会主催の新年会を開催いたします。会員の皆様とともに新年をお祝いし一年の活動や抱負を語りあい、親睦を深める会として、実施するものです。この機会が会員相互の情報交換の場として充実した会となればと考えておりますので、ご多忙中とは存じますが、皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

### ■ 青山雄一郎会員の事例が連合会ホームページに掲載



当協会会員の青山雄一郎氏が、中小企業診断協会(連合会本部)の「企業内診断士活動の先進事例集」に紹介されています。会社員としての仕事をしながら「副業」の中小企業診断士の活動をする様子を自ら執筆されています。ぜひご覧ください。ご覧いただく際は当協会内の次のアドレスからアクセスください。

<http://www.shindan-hg.com/archives/1730>

### ■ 下村酒造店酒蔵見学会を実施



平成31年2月9日、姫路市安富町の下村酒造店を訪ね、酒蔵見学会を実施します。下村酒造店は、機械化が進む酒造業界にあって、「手造りに秀でる技はなし」の家訓に基づいて、今もお伝統の酒造りを守り続けている老舗の酒蔵です。当日は、下村社長の案内による見学会のほかに、酒造業界の現状や課題、これまでの取り組みなどもお話しいたできます。

### ■ 「中小企業診断士と支援機関の連携事例集」を発行

中小企業診断士協会近畿ブロック「診断の日」プロジェクトとして、中小企業診断士と各支援機関との連携の事例を紹介した事例集を発行しました。本誌には、当協会会員の活動状況のほか、近畿ブロックに所属する福井・滋賀・京都・奈良・兵庫・大阪・和歌山の各拠点の紹介のほかに、各地区の診断士の活動事例を40ページあまりにわたり豊富に紹介しています。ご覧になりたい方は、事務局までお越しください。



## 協会だより

平成31年3月31日、特別会員の制度を廃止します。

特別会員の皆様には、他府県の会員に加えて、当協会の会員にもご登録いただき、誠に有り難うございます。平成31年4月以降、特別会員資格の廃止することとなりました。

特別会員制度を廃止する背景といたしましては、連合会本部、兵庫県協会とともに、一般社団法人化する前の組織（以下「旧組織」という）では、旧中小企業診断協会の中に都道府県支部が存在する構成でした。旧組織では一支部の会員が、重複して他の都道府県支部の会員になる場合、旧組織本部への会費を二重に徴収しない運営がなされていました。

平成24年に公益法人改革により、旧組織の兵庫県支部を一般社団法人化し、当協会がスタートいたしました。その際、旧組織の運営に倣って他府県協会の会員が当協会の重複会員になる場合を想定し、本部会費（1万5千円）を徴収しない特別会員（当協会会費3万円）を設定し、現在に至っています。昨年、連合会本部から各都道府県協会が負担する本部会費の徴収について、各都道府県協会の組織規模（＝会員数）は、他府県の重複会員であるかどうかとは無関係に、当該協会の会員登録人数全体とする、との考えが改めて示されました。

組織全体の運営から当協会の特別会員の方々も、兵庫県協会会員として組織規模判断の人数に含めるよう要請を受け、平成31年3月末をもって特別会員制度を廃止することになりました。本件につき、ご理解をいただけましたら幸いです。（総務委員長 志水功行）

組織全体の運営から当協会の特別会員の方々も、兵庫県協会会員として組織規模判断の人数に含めるよう要請を受け、平成31年3月末をもって特別会員制度を廃止することになりました。本件につき、ご理解をいただけましたら幸いです。（総務委員長 志水功行）

### 今後の予定

#### セミナー

日 時	会 場	テ ー マ	講 師
2月 7日(木) 18:30~20:00	神戸市産業振興センター901号室	「日本銀行神戸支店長が語る!最近の金融・経済情勢について」	武元和彦日本銀行神戸支店長
2月 9日(土) 14:00~16:00	株式会社下村酒造店	第7回スキルアップセミナー「下村酒造店酒蔵見学会」	下村裕昭社長

※スキルアップセミナーは7月~翌年1月の間で全7回の開催を予定しています。連絡先:代表・伊藤 康雄 ito@ocsc.biz

#### 協会行事

日 時	予 定	主催・場所
1月19日(土) 17:00~19:00	新年会	ザ マーカススクエア 神戸
1月26日(土) 13:30~17:00	企業内診断士祭りwasshoi	神戸市産業振興センター802+803号室

### 研究会スケジュール

問い合わせ先: 078 (362) 6000

#### ● 診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月10日(木)	神戸市産業振興センター802号室	現場の研究 ものづくり 企業の講演(事例発表)	玉島 剛氏

※開催日: 原則第2木曜日 時間: 18:30~20:30  
 ※連絡先: 代表 楠田 真康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com

#### ● 地域産業活性化研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月9日(水)	神戸市産業振興センター	丹波市インバウンドに	研究会員
2月6日(水)	804号室	関する調査・研究	全員

※開催日: 原則第1水曜日 時間: 18:30~20:30  
 ※連絡先: 代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp ※今年度の募集は締め切りしました。

#### ● HOO経営研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月15日(火) 18:30~20:30	神戸市勤労会館	「中小企業の事業承継 M&A講座」(第4回)	中小企業診断士 高橋 秀仁氏 (アシスト2代目)
3月19日(火) 18:30~20:30		「中小企業の事業承継 M&A講座」(第5回)	
5月21日(火) 18:30~20:30		「中小企業の事業承継 M&A講座」(第6回)	

代表 福島 繁  
 ※連絡先: 中島 和樹 nrj21477@nifty.com : 原則は奇数月第3火曜日

#### ● プロコンスキル研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月14日(月)	神戸市産業振興センター905号室	支援事例等による 実践スキルの研鑽	八木 敏文氏 京 里美氏

開催日は原則、奇数月の第2月曜日 時間: 18:30~20:30  
 ※連絡先: 玉島 剛 g.tamaso@gmail.com (参加はプロコン育成塾修了者と講師に限ります)

#### ● 青年部会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月7日(月)	神戸市勤労会館	①未定	①西谷雅之氏
2月4日(月)		②未定	②内藤敏氏
3月4日(月)		未定	未定

※開催日: 原則、第1月曜日 時間: 19:00~21:00  
 ※参加資格: 49歳以下の支部会員  
 ※連絡先: 東松 英司 e.toumatsu.7m@gmail.com

#### ● ものづくり&SCM研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
2月2日(土)	兵庫県 県民会館	①(仮称)下町ロケットみたいに	①藤本正一氏
		②OEM製品開発事例	②土屋達郎氏
3月2日(土)		①未定	①森本 美弥氏
		②未定	②斐山孝嗣氏

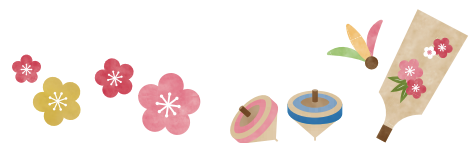
※開催日は原則、第1土曜日 時間: 14:30~17:00(1、5、8、12月除く)  
 ※連絡先: 三村 光昭 QZE02753@nifty.com

#### ● HRM研究会 (Human Resource Management 人的資源管理)

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
1月8日(火)	兵庫県民会館	調査研究に関して	畑 英樹氏

企業内診断士の活動内容をモデル化しアンケートや各種ヒアリングを実施し分析を行い、各方面からの協力を得ながら研究活動を実施しています  
 ※開催時間: 19:00~21:00  
 上記日程以外にも、大学や関係機関との研究交流などを随時実施  
 ※連絡先: 畑 英樹 srhataz@yahoo.co.jp

※各スケジュールは変更になることがあります。



### 編集後記

明けましておめでとうございます。平成最後の年が明けました。昨年の5月から各所で「平成最後の～」商戦が繰り広げられてきました。このキーワードを使うだけで「最後だから何かをするか」「買ってみるか」と消費意欲がかきたてられたようです。平成も残り4ヶ月です。最後を楽しみつつ未来に向かって、また新たな消費意欲を沸かすような取り組みにチャレンジしていきたいです。(天)